



今月は大学ならではのイベントを多数企画しました。どうぞお気軽にご参加ください。

◎定員は20組です。混雑時は、交替しながらのご利用にご協力をお願いします。

◎自転車でお越しの際は、昭和女子大学内駐輪場をご利用ください。

「いつもの場所」があるということ

前川 未来さん

気がつけば9月に2歳になる娘。そして同じ「母さん業」2年となる私。独身時代は仕事ばかりしていて、わりといい年になってからの出産・育児。地方出身で産後も東京の自宅で日中ひとり育児をしていた私に助産師訪問に来ていただいた担当の方が「いつ行っても大丈夫な所ですよ」と教えてくださったのが SHIP でした。今思えば、私よほど辛い顔をしていたんでしょう(笑)

娘の動きが活発になり始めた6か月過ぎから、毎日のように通い始め、外遊びができるようになった今でもつつい足を運んでしまうSHIP常連組。仕事をしている時にもこんなに通い詰めたお店はありません！といってもいい位の通いっぷりで(笑)初めは家の中では飽き足りない娘の為にとせせと抱っこで通っていたのですが、そのうちに人見知りな私にも顔なじみのお母さんができ、お互いの悩みや情報を共有したり、気がかりな事を先生に相談したりなど、それは私にとっても大切な社会生活が送れる時間と場所になっていました。

離乳食、卒乳、歩き始め、人見知り、お友達との関わり、イヤイヤ・・・次々に訪れる子どもの出来事での不安や喜びを SHIP の中で娘と一緒に学ばせていただいていたかと思っています。

成長とともにおでかけできる所も増えたり、また病気もいつぱいもらって外に出られなかったりと、イレギュラーな日が多くなってきましたが、そんな日が続いて少しホッとしたときは「いつもの場所と時間」が心強く私も娘も SHIP に来て心と身体をリセットをしています。

1歳半を過ぎた頃、初めて一時預かりサービスを利用した時も背中を押していただいたのはスタッフの先生やすでに利用している SHIP で会うお母さんのお話のだったのですが、初日は恥ずかしながら母子ともにメモリでした。でも翌日、やはり私は娘を連れて「いつもの場所」へ来て娘がそれまでと変わらず元気に遊ぶ姿を確認して、ホッ胸をなでおろし気持ちをリセットをしたのでした。

ドタバタな育児の毎日で、まだまだ不慣れな「母さん業」・・・でもいつも変わらずやさしく娘を迎えてくれる「いつもの場所」。そんな日常がいちばん大切に幸せだなあと近頃感じる今日のごころ。

でもこの日々はやはり娘は記憶に残らないのかな・・・と思うとなんだか寂しい！そして悔しい！（笑）

(SHIP 会員)



今月のイベント・講座

●絵本の部屋 乳幼児親子対象

大人も楽しめる絵本の読み語りです。赤ちゃんと一緒にどうぞいらしてください

9月4日(火) 10:40~11:00 (無料・申込不要) 講師:三澤葉子さん

●「幼稚園・保育園について」の交流会 父母対象 申込:8月22日~

昭和女子大学附属昭和幼稚園江口園長が「幼稚園とは」「幼稚園教育の魅力」「幼稚園選びについて」、昭和ナースリー(認定こども園・認証保育所)越川園長が「保育園とは」「保育園入園にあたって」「保育園と仕事との兼ね合い」などについてお話しします。

9月13日(木) 10:30~11:30 (無料・事前申込40組まで)

会場:昭和女子大学学園本部3F 中会議室 ベビーカーのまま会場までお越しください。

●お誕生会 乳幼児親子対象 申込:8月21日~

昭和女子大学へ遊びにいらしてください！学生がお子様に向けた歌や劇をプレゼントします。

9月生まれでない方もどうぞご参加ください。ご家族みなさまのお越しをお待ちしています。

(お子さま1人につき500円・事前申込20組まで)

9月15日(土) 13:30~14:10 開場:13:20 会場:昭和女子大学80年館2F・2L37教室

●パパの会① キックオフミーティング!! 父母対象

第1回パパの会の始まりです！今後の進め方を決めますのでご興味のある方、いらしてください！

9月17日(月・祝) 14:00~15:00 (無料・申込不要)

●世田谷区とマザーズハローワークの「お仕事相談」 父母・祖父母対象

世田谷区産業振興公社とマザーズハローワークの職員が、仕事と子育ての個別相談に応じます

9月19日(水)14:00~15:00 (無料・申込不要)

●子育て講座⑥「離乳食について」 父母対象 申込:8月22日~

大学の調理室にいらしてください！大学の先生と離乳食や食事法をみなさん一緒に学びませんか？

9月25日(火) 11:00~12:30 (参加費500円・事前申込20組まで) *別紙申込書あり

会場:昭和女子大学2号館4F 栄養教育実習室 (ベビーカーのままお子さまと一緒に会場へ！)

講師:昭和女子大学 石井幸江准教授(管理栄養士)

★出張ひろば「ハッピー&ドリーム 大コンサート！」乳幼児親子対象

年に1度の出張おでかけひろばです。SHIPをまだご存知でない方も、どうぞご参加ください。

洗足学園音楽大学秋山ゼミのフルメンバーによる親子向けコンサートです。直接会場へお越しください

9月29日(土)10:00~11:00(無料・事前申込不要) 於:昭和女子大学新体育館プレイルーム

*この日のSHIPの開室は12時~とさせていただきます。ご了承ください。

◎有料のイベント講座については、会員が事前に料金を添え SHIP 受付に直接お申込ください。

一旦納入された参加費の返金はできませんのでご了承ください。当日欠席の方はご連絡ください。

栄養士からのメッセージ 手づかみ食べの向こうには…

離乳完了期になると、自分で食べたいという気持ちが強くなり食事のときなど、食べ物に手を伸ばすお子さんが多くなると思います。いわゆる手づかみ食べの時期ですが、手づかみで食べると周囲を汚しお母さんの忍耐の時期でもあります。そのためか、あまり手づかみ食べを積極的にはさせたくないという声も聞きますが、食べる意欲を育てるために、とても大切な時期になります。例えば、フォークを使って食べ物を全部ひとくち大にして食べさせると、食べ物が口の奥の方に入ってきてしまい、自分のひとくち量は、どのくらいであるとか、このくらいの硬さだとどのくらい噛まなければいけないかなどをうまく覚えることができません。

また、いきなりフォークやスプーンで口に持って行くのではなくて、自分の手でつかんだものを直接口に持って行くほうがやさしいので、手と口の協調的な運動を育てるためにも、手づかみのほうがうまく取り込み方を覚えられます。手づかみを十分に経験させた上でスプーンやフォークに移行したほうが、食器の扱いなども発達しやすいといわれています。

保育園での、お子さんの食べる様子をみていると、2歳くらいになってもまだ上手にスプーンやフォークを使いこなすことはできません。けれども、一生懸命、フォークやスプーンを駆使してやっとすくった食べ物を口に運ぶ姿は真剣そのものです。

「自分で食べる意思」と短時間でも食事に集中する感覚を持たせるために、手づかみ食べが始まったら、決して食べる意欲の芽を摘むことのないようにおいにさせてあげてください。（中島則子）



女性のお仕事応援しています



SHIPで毎月開催している世田谷区産業振興公社の『おしごと相談』に、マザーズハローワーク東京の就職支援ナビゲーターの方も一緒にお仕事のご相談をさせていただくことになりました。

お仕事相談というと、すぐにお仕事を見つけるための相談機関と思いがちですが、子どもが生まれてから自分の仕事をどう考えていけばいいのか、子育てと仕事をどのように両立していけばいいのか、どんな働き方が可能か思い悩んだときにもお気軽にご相談いただけます。即、仕事を再開しなくても5年後、10年後の『なりたい私』に向けて一步を踏み出していくプログラムなどもあります。SHIPでのお仕事相談から実際にお仕事を再開された方もいらっしゃいます。個別相談（お子さま連れ可）をご希望の方は直接下記へご連絡ください。

世田谷区産業振興公社おしごと相談コーナー 03-3411-6604（平日9～17時 祝祭日休）

また、子育て中の女性のためのパソコン入門（ワード・エクセル）5日間の講習が無料で受けられたり、応募書類の効果的な書き方や面接のポイント、就職に役立つ各種セミナーも託児付・無料で受けられたりと、魅力的なメニューもたくさんあります。こちらの詳細は以下へお問い合わせください。マザーズハローワーク東京 03-3409-8609（平日9～17時 祝祭日休）

第1回『パパの会』“キックオフミーティング”開催します！！

日時：9月17日（月・祝）14時～15時まで



先月、SHIP会員のパパ・角田晃一さんが『パパの会』（仮称）を発足しました。これからSHIPでパパ主体の活動を始めていきますが、企画運営を一緒に行っていただけるパパを募集しています。忙しくて、SHIPになかなか来られないパパでもメールで意見交換していきますので、ご協力いただけるパパは、ぜひ下記までご連絡いただくか、直接スタッフへお声かけをお願いします。（おでかけひろば SHIP メールアドレス：ship@npo-showa.net）

さて、いよいよ第1回『パパの会“キックオフミーティング”』を開催します。パパにターゲットを置いて幅広く考えあう場とするために、今後どんなことを考えていったらよいか、パパママのご意見を伺いたいと思います。ご興味のある方はどうぞお気軽にご参加ください。

ただ今、パパの会で「アンケート」を作成しています。できあがりしたら配布を開始しますので、皆さまの声をご記入ください。ご協力をお願いします。

■パパのコラム欄：3人のパパが毎月交代で担当します

～パパのあしあと NO.3 『すべり台』～ 角田晃一さん

先日、久しぶりに嫁と休みが合ったので家族3人で世田谷公園へ。いつも通りすべり台に昇る息子を下で見ていると、「1人で昇ってるじゃん！？」とベンチで見ている嫁から驚く声が。どうやら嫁が見ている時は危ないから1人では昇らせないらしい。む、また怒られるか？と思ったらどうも様子が違う。

妻の目が涙で潤んでいる。聞くと、早産で小さく産んだ息子が大きなすべり台で遅く遊んでいる姿を見て感動したのだとか。遊ばせる時はもう少し気をつけた方がいいかなと若干省みつつ、様々な環境下で子どもを育てる意義を感じた一幕でした。（SHIP会員）

